

《課題名》 滋賀県における鼠径部ヘルニア診療に関する検討

《研究対象者》

2009年1月～2021年3月までに滋賀ヘルニア研究会の参加施設において「鼠径部ヘルニア」と診断され、手術を受けた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大および滋賀ヘルニア研究会の参加施設で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名： 滋賀県におけるヘルニア診療に関する検討

研究期間： 2009年1月～2024年3月

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 教授 谷 眞至

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

鼠径部ヘルニア診療における治療方法は日々進歩している。様々な治療法に対する現状を把握することは、今後の治療方針の参考となる。滋賀県におけるヘルニア診療の充実を目的として2007年に滋賀ヘルニア研究会が発足し、毎年定例的な研究会が開催されている。参加施設は県内の主な外科手術を担当している24施設であり、各施設からの情報収集を行うことにより鼠径部ヘルニア診療の現況を把握することが可能であると考えます。

本研究では、滋賀ヘルニア研究会の参加施設から鼠径部ヘルニア手術を行った症例の鼠径部ヘルニア分類、手術術式などの臨床病理学的因子について既存資料を用いて鼠径部ヘルニア診療の現況を分析・検討することを目的としています。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

当院および滋賀ヘルニア研究会参加施設において2009年1月以降で鼠径部ヘルニアの手術を受けた患者さんを対象として、電子カルテより年齢、性別、鼠径部ヘルニア分類、手術術式、手術時間、抗凝固剤の使用の有無などの情報を解析します。

(4) 個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供）を停止することができます。停止を求められる場合には、(2021年5月31日までに) 下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

実施責任者： 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 教授 谷 眞至

問い合わせ先： 滋賀医科大学 外科学講座 消化器・乳腺・一般外科 准教授 清水智治

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス： hqsurge1@bell e. shiga-med. ac. jp